黒字の市営地下鉄を「民営化」

市営地下鉄は、334億円も黒字です（2013年度）。全国の地下鉄で初めて累積赤字も解消し、いよいよ市民に還元できる状態になっています。だから、料金値下げやトイレ改修ができたのです。橋下市長は、いい時に市長になっただけです。こんな超優良企業を「民営化」するのは何のためでしょうか？

何のため？ 誰のため？

「民営化」して株売却は“錬金術”だ

橋下市長は、泉北高速鉄道の株式が外国のハゲタカファンドに売却される話が持ち上がったとき「市交通局も同じようなことを考えるべきだ。株式売却で地下鉄に投じたお金を回収し、再投資に回せる。いわゆる“錬金術”だ」（産経新聞2013年11月28日）と発言。

「民営化」は、市民の共有財産を売り飛ばし、カジノ・鉄道の資金を調達するためです。

週刊 I LOVE OSAKA

「都構想」ストップ！

▶大阪市庁舎前の地下鉄工事

日本で最初に「公営」で路面電車を走らせた大阪市（1903年）。当時の市長は、「市民生活に必要な交通機関は、私人や営利会社に委ねるべきではない」と「市営」を貫きました。

1933年には関一大阪市長によって地下鉄（梅田～心斎橋間）が開通し、現在では8路線・123駅、129.9㎞の営業キロとなりました。この全路線の建設費用を今の価格で試算すると3兆8250億円にもなる市民の貴重な財産です。

市バス・赤バスを切り捨て、市民の足を奪い民間に売り飛ばすようでは、将来に禍根を残します。

We Say NO! 5.17 Osaka

よみがえれ大阪

「大阪市をよくする会」機関紙
2015年3月17日 第375号

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL（06）6357-6139　FAX（06）6357-5303
HP：http://www.yokusurukai.com
Mail：yokusurukai@nifty.com

大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、障連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。　大阪市をよくする会の見解をお知らせします。